

# 薬剤部だより No.194

山口大学病院薬剤部 2006.3.16



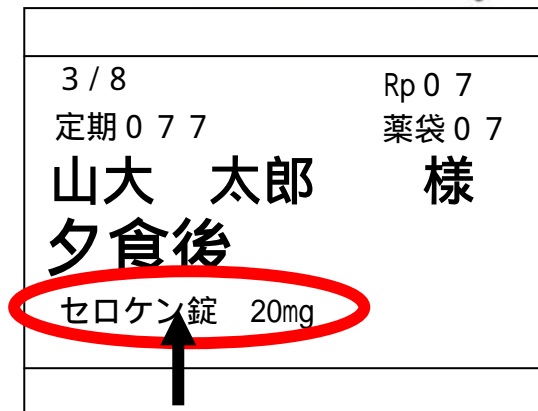
## 薬品名を印字させる散剤分包機を新たに導入

薬品名を印字させる散剤分包機は、今まで薬剤部に1台しかなく、対象診療科の拡大とともに、散剤の分包が滞りがちでした。このため、早急に薬を病棟にあげることができないこともありました。新たな分包機の導入により、これが解消されるものと期待しています。分包紙印字レイアウトはこれまでどおりですので、以下の点にご注意ください。



- \* 散剤分包紙に印字されている薬品名直後の数値(右の例では20mg)は、その薬剤の規格単位を表しており、決して、投与量(1包に含まれる量)ではありません!
- \* 抗癌剤や吸湿性の高い薬剤など機械にかけられない薬剤は印字出来ません!

散剤印字を望まない場合(内容を患者さんに知られたくない等)は、コメントで印字不可がわかるように表示してください。



## 処方オーダに時間毎の用法が一つ追加になりました

これまで、コンピュータによる処方作成時、「1日2回 12時間毎」、「1日3回 8時間毎」、「1日4回 6時間毎」というオーダ方法でしたが、「1日1回 24時間毎」という投与方法がありませんでした。下記の例のように、この用法を新たに追加しましたのでお知らせします。

処方例	ピーガード錠 20mg	1錠
	<u>1日1回24時間毎</u>	3日分

## 坐剤半個使用時の処方について

坐剤を1回につき半個宛使用させる場合は、現在、例1のように、1個を2回分として使用していただくよう調剤しています(端数切り上げ)。しかし、半個使用した残りを使わせたくない(廃棄させたい)場合は、例2のように処方することも可能です。

例1) カロナール坐薬(100) 0.5個  
頓用 5回分

$0.5 \times 5 = 2.5$  3個払い出し

例2) カロナール坐薬(100) 5個  
(全量)  
1回半個宛使用のこと

5個払い出し

## 病棟出力された処方箋の送付について

病棟で出力される処方箋(修正、時間外)が薬剤部へ送付済みかとの問い合わせが、時間外に殺到しています。場合によっては多量の処方箋を当直者が全て点検しなければなりません。スタッフ間の伝達を密にする、処方箋控え、ラベルの活用を図るなど、ご協力宜しくお願いします。また、プリンタに処方箋が残っていないか、今一度ご確認ください。

## 退院時処方の取り扱いについて

退院時処方の出し忘れにより一旦、退院処理を取り消して、処方オーダ直後、再度退院処理を行うと、薬剤部より処方せんが出力されない場合があります。そのような操作行った場合には薬剤部にご一報ください。

## 供給停止のお知らせ

### ・ヒュメゴン75/100単位

産婦人科領域製品「ヒュメゴン75/100単位」に関して、原料の確保が困難になり、一時的に供給不能となります。在庫なくなり次第オーダを削除します。代替薬をご検討下さい。

### ・日本脳炎ワクチン「S北研」

日本脳炎ワクチン「S北研」の製造・販売中止に伴い、本製品が在庫限りにて常備薬から削除となる予定です。